

監査報告書

令和8年5月20日

社会福祉法人
電機神奈川福祉センター
理事長 岡元茂樹 殿

監事 佐藤 信也
監事 松迫 卓夫

私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
継続した対応を実施いただくよう求めます。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

- ① 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- ② 引き続き顧問税理士法人の指導を仰ぎながら、適正な会計処理に努めること。

3 監査所見

事業報告並びに役員との意見交換を通じて、組織体制の強化・見直しに一定の成果が出ていることが確認できました。

引き続き、事業運営を支える体制構築等の課題について役職員が一丸となって、善処されることを期待します。

以上